

3 電気の使用面での取組み

お客さまの節電・省エネにつながる取組みを進めるとともに、当社自らや社員の家庭においても一層の節電・省エネ活動に取り組んでいます。

(1) お客さまの節電・省エネにつながる取組み

～ 一般お客さまに対する取組み ～

お客さまにムリなくムダなく上手に電気を使っていただく省エネルギーの提案を中心とした「省エネ快適ライフ」を推進しています。

■ 省エネのPR

省エネ・省CO₂活動に取り組んでいただく際に役立つ情報を、わかりやすく紹介したパンフレットをお客さまに配布するとともに、ホームページなどでも省エネのPRを行っています。また、各営業所のホームアドバイザーが、上手な電気の使い方などを紹介する講座を開いています。



パンフレット

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) >よくわかる電気の省エネ

～ 法人お客さまに対する取組み ～

設備の運用改善や、ヒートポンプをはじめとする高効率機器への更新等による節電・省エネ提案など、エネルギーの効率的利用に資する活動を展開しています。

■ 農業分野の省エネに関する研究

省エネ技術として、業務用及び家庭用を中心に普及が進んでいるヒートポンプを農業分野の暖冷房空調に採用した温室栽培の研究に取り組んでいます。



ヒートポンプ利用栽培 (パラ栽培農家)

作物の生育・品質面でのヒートポンプの優位性実証研究や農業向けヒートポンプ高効率化の研究等を行い、省エネとCO₂の削減を目指すとともに、省エネ空調等の技術・ノウハウを基に、技術コンサル活動を展開しています。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) >省エネ関連情報・節電対策のご紹介
>技術開発における取組み

用語集を
ご覧ください

- ホームアドバイザー
- ヒートポンプ

営業所での取組み

グリーンカーテンの種(風船カズラ)を 窓口でご提供しました

宮崎お客さまセンター日南営業所
営業グループ

くり わき ゆう
栗脇 優



日南営業所では、今年4月、風船カズラの種をグリーンカーテン用に窓口でお客さまにご提供しました。

この風船カズラの種は、清掃員の本田さまが、自宅にできた種を営業所玄関横でグリーンカーテンとして昨年育てられ、秋に採取されたものです。本田さまのご厚意により、夏の節電対策のご提案になればと、封筒に小分けして、多くのお客さまに持ち帰っていただきました。



風船カズラの種

種を手にとって育て方を質問される方も多く、ハートマークの入ったかわいい種は、特に女性のお客さまに喜ばれていたようです。

節電への取組みの芽が広がることを風船カズラの種に託し、これからも営業所一体となって色んなアイデアを出し合い取り組んでいきます。

「本田さん、いつもありがとうございます！」

ホームアドバイザーの声

エコ料理で快適に 省エネ・エコライフ！

大分お客さまセンター 別府営業所
九電ホームアドバイザー
さいとう 齋藤 ちはるさん



たかも いずみ
高茂 泉さん(写真右)

九電ホームアドバイザーという仕事に携わり、日々お客さまと接するようになってから省エネやエコを意識するようになりました。



大分県エコ料理コンテスト最優秀賞受賞
「早ラク! ヘルシー! エコロック御膳」

そんな中、大分県が環境にやさしい料理のレシピを募集した「おいしい大分～我が家のエコ料理コンテスト」にチャレンジすることとなり、私たちが日頃意識している省エネを家庭料理にプラスした「早ラク! ヘルシー! エコロック御膳」で最優秀賞を頂くことができました。

このような経験をこれからの省エネ活動に活かして、より多くのお客さまと一緒に快適な省エネ・エコライフを目指していきたいと思えます。(文:齋藤さん)



省エネ活動「電気の上手な使い方講座」の様子

節電へのご協力をお願いします。

節電へのご協力に心より感謝申し上げます。

今夏の需給見通しは、原子力の再稼働がない場合、あらゆる供給力対策を織り込むことで、安定供給に必要な予備力を何とか確保できる見通しですが、発電所トラブルなどのリスクを踏まえれば、厳しい需給状況となることが予想されます。

このため、今夏の需要想定において定着節電として織り込んでいる節電*を目安に、お客さまの生活・健康や生産・経済活動に支障がない範囲で可能な限り、節電にご協力いただきますようお願いいたします。

※：昨夏にご協力いただいた節電の約8割(2010年夏季最大電力比：▲8.5%)。

【節電にご協力いただきたい期間・時間】

- ・期間：2013年7月1日(月)～9月30日(月)の平日(お盆期間8月13日～8月15日を除く)
- ・時間：9時～20時

用語集をご覧ください

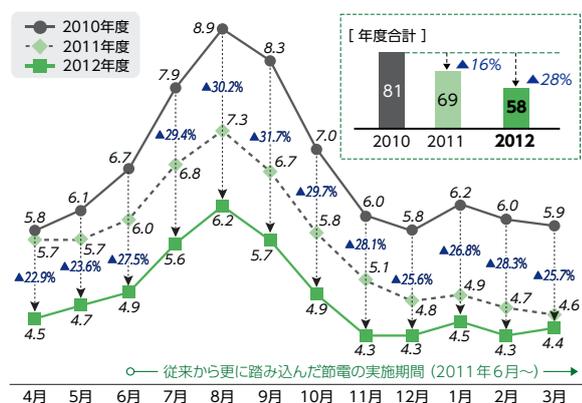
●ステークホルダー

(2) 当社事務所における節電・省エネへの取組み (オフィス電力使用量の削減)

当社では、これまでも省エネルギーに積極的に取り組んできましたが、厳しい電力需給等を踏まえ、2011年の夏から継続して、更に踏み込んだ節電にグループ体となって取り組んでいます。

2012年度のオフィス電力使用量は58百万kWhとなり、2010年度比で約28%削減(▲22百万kWh)しました。さらに、今夏についても、照明・エレベーターの間引きやクールビズの拡大などに取り組みます。

全社オフィス電力使用量削減実績* 単位：百万kWh



節電・省エネへの取組状況

項目	従来の夏季省エネにおける主な取組み	今夏(2013年度)の主な実施内容
空調	・室内温度の目安：28℃ ・クールビズの励行 など	・室内温度28℃の徹底 ・クールビズの拡大(襟付きポロシャツ、チノパン等) ・原則就業時間内の運転(昼休みの運転停止(食堂除く)、終業後の原則運転停止)
照明・コンセント	・事務室の昼休みの消灯及び会議室、トイレ等の使用時のみの点灯 ・OA機器の効率的利用(退社時の電源切) など	・事務室、共用スペース(廊下等)の間引き(50%以上) ・残業時の使用箇所のみ点灯 ・パソコンの省エネモードの活用及びディスプレイ照度調整の徹底 ・日中(晴天時)の可能な限りの消灯 ・テレビ、充電器等の不使用时のプラグ抜き徹底
その他	・近隣階(1～3階程度)へのエレベーター利用の自粛 ・給湯器の省エネモードの活用 など	・エレベーターの間引き運転(始業前、昼休みを除く) [(例) 本店：8台中3台の間引き] ・原則上下5階は階段利用 ・昼休み時間の変更(夏季のみ [12:10～13:00 → 13:00～13:50]) ・給湯器、冷水機、温水洗浄便座(ヒーター)、エアタオルの停止 ・原則ノー残業(残業時はエリア限定の点灯)

■ ビル・エネルギー管理システム (BEMS) の活用

事業所におけるエネルギー使用実態(時間帯別・用途別の電力使用量等)を見える化し、エネルギー使用の最適化を図るため、ビル・エネルギー管理システム (BEMS) を14事業所 (3支社・11営業所、2013年3月末現在) に導入しており、導入事業所でのエネルギー使用量の分析結果や機器の運用改善結果等について、適宜全社に周知・展開することで、着実かつ効率的な省エネへの取組みを進めています。

(3) 社員の家庭における取組み

お客さまに節電・省エネへのご協力をお願いするにあたっては、当社自らがより一層の節電に取り組んでいかなければならないと強く認識しています。

このため、職場だけでなく、社員の各家庭においても、エアコン設定温度のこまめな調節やこまめな消灯、省エネタップ活用による待機電力の削減など、これまで以上の節電や省エネに徹底して取り組んでいます。



社員の家庭での取組例
(グリーンカーテン)

■ 夏の節電アクションの展開

厳しい需給状況を踏まえ、昨夏から社員とその家族が家庭や自宅における節電の必要性について再認識し、家族一体となって取り組むことを目的に「きゅうでん家族で取り組む『夏の節電アクション』」を展開しています。これは、チェックシートを活用し、取組内容や効果を確認するもので、好事例等については、社内報で紹介を行っています。

チェックシート

用語集を
ご覧ください

●ビル・エネルギー
管理システム
(BEMS)

夏の節電アクション参加者の声

子どもたちが節電の主役です

我が家では、子どもたちに協力してもらいながら楽しく節電に取り組んでいます。

エアコンは、設定温度を28℃~29℃、一度に2台以上は使用せず極力1部屋で過ごすように心がけています。また、二週間に一度はフィルターの清掃を行います。

子どもたちは進んで「エコチェック係」をしてくれ、使用していない照明や電化製品を片っ端から切っていきます。たまに録画中のレコーダーのコンセントを抜かれることもありましたが、おかげで2010年に比べ3割近くも電力使用量を削減することが出来ました。

このように我が家では、子どもたちの成長を感じながら節電を楽しんでいます。今後とも、無駄のない生活が送れるよう家族で取り組んでいきたいと思えます。

佐賀お客さまセンター 業務運営部 コールセンター

福田 芳秋



エコチェック!!



エアコンのフィルター
清掃の様子

夏場の電力使用実績



■ 環境家計簿の活用

消費したエネルギーから排出されるCO₂の量を「見える化」する当社の「みらいくんの環境家計簿」を活用し、電気のみならず、ガス、水道、ガソリン等についても使用量削減に努めています。

WEB 「みらいくんの環境家計簿」は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > [みらいくんの環境家計簿](#)



当社ホームページ「みらいくんの環境家計簿」

4 省エネ・省資源活動の展開

社用車におけるCO₂排出抑制やコピー用紙などの省エネ・省資源活動についても取組みを推進しています。

(1) 社用車におけるCO₂排出抑制への取組み

中長期的な地球温暖化対策の観点から、2020年度までに1,000台程度の電気自動車(プラグインハイブリッド車を含む)の導入を目指しています。

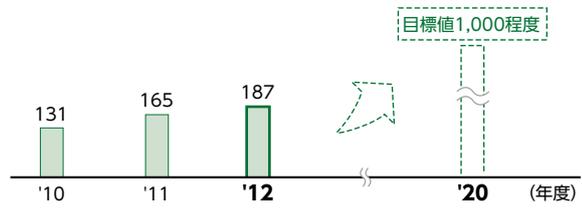
2012年度は24台を営業所などに配備し、一般車両約2,300台のうち、これまでの累計導入台数は187台*となりました。

また、低燃費車の導入やエコドライブの確実な実施などにより、一般車両の燃料消費率向上にも取り組んでおり、2012年度は、目標(12.0km/ℓ以上)を上回る12.4km/ℓとなりました。

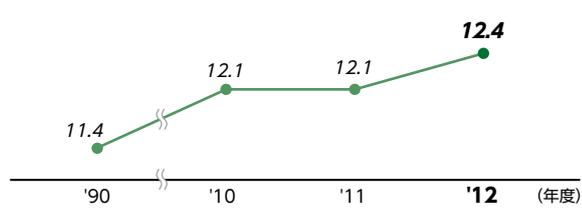
*:電気自動車2台を廃車したため、2011年度(導入台数165台)からは22台の増加。

WEB 委託輸送に係る省エネへの取組みについては九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > [委託輸送に係る省エネへの取組み](#)

電気自動車導入台数(累計) 単位:台



一般車両燃料消費率 単位: km/ℓ



用語集をご覧ください

- ステークホルダー
- 環境家計簿
- 地球温暖化
- 電気自動車
- プラグインハイブリッド車
- 低燃費車
- エコドライブ
- 上水

■ 電気自動車(EV)充電インフラ整備に関する研究開発

CO₂排出抑制に向けた取組みとして、EVの普及促進に必要な充電インフラに関わる技術開発を推進してきました。

急速充電器は2006年度から開発・実証実験を実施し、2009年9月にグループ会社の九電テクノシステムズ(株)が販売を開始しています。

この急速充電器は、電源部と充電スタンド部を分離することで、充電スタンド部のコンパクト化を図るとともに、IDカード等による個人認証も可能とするなど、利便性向上を図っています。

また、2013年3月には、このIDカード等による個人認証に加えて、専用の携帯情報端末にイベント情報や防災情報などの配信が可能なシステムを装備した普通充電スタンドを開発しました。

[分離型急速充電器]



充電スタンド部 電源部 電気自動車と普通充電器(スタンドタイプ)

(2) コピー用紙購入量・上水使用量の抑制

ペーパーレス化の推進や裏面利用、節水活動の徹底等により、「コピー用紙購入量」と「1人あたりの上水使用量」の抑制に取り組んでいます。

2012年度は「コピー用紙購入量」、「1人あたりの上水使用量」とともに2011年度を下回りました。

コピー用紙購入量、上水使用量の推移

